

「三重県ドクターヘリ」 の運航開始



心臓発作や脳卒中、交通事故など、緊急に治療を行う必要がある重症患者が、早期に医師による治療を受けられるよう、三重大学医学部附属病院と伊勢赤十字病院が2月1日から「ドクターヘリ」の運航を開始しました。

ドクターヘリとは

ドクターヘリは、救急医療用の医療機器などが装備され、救急医療の専門医や看護師が同乗し、救急現場などから医療機関に搬送するまでの間、患者に救命医療を行うことのできる専用のヘリコプターをいいます。

ドクターヘリの運航方法

ドクターヘリは、悪天候の場合などを除いて毎日昼間に、消防機関からの要請（※）により出動し、予め設定した臨時離着陸場等に着陸して、患者を搬送してきた救急車と合流します。

※県民の方が直接要請することはできません。

ドクターヘリの運航範囲

三重県ドクターヘリは、三重大学医学部附属病院と伊勢赤十字病院が2ヶ月交代で運航しますが、いずれの病院からも、県内各地へ概ね35分以内に到着することが可能です。

出動したドクターヘリが着陸する場所

小・中学校の運動場や公園など、予め設定した救急現場に近い臨時離着陸場等に着陸します。現在、三重県の臨時離着陸場は約550ヶ所となっています。

なお、朝日町では、朝日小学校グラウンド、朝日町スポーツ施設グラウンドの2ヶ所が指定されています。

ドクターヘリの出動に伴う費用負担

ドクターヘリについて、搬送にかかる費用を負担いただくことはありません。

ただし、ドクターヘリ要請に伴う医療行為に係る費用は、通常の診療と同様に患者の方の負担となります。

県民の皆様にお願ひ

ヘリコプターが離着陸する際は、プロペラの回転による強い吹き下ろしの風や騒音が発生しますので、ご理解をお願いします。また、消防職員の指示に従い、離着陸場から離れるなどのご協力をお願いします。